

まちづくり活動助成「まち“夢”工事」部門 第1次工事提案書

団 体 名	ふりがな えこども
工 事 提 案 名	ふりがな こどもがいきたくなるようなえこなどいれをさんちょうに 子どもが行きたくなるようなエコなトイレを山頂に！
工事を行う場所 (町名までご記入下さい。)	守 山 区 上 志 段 味 東 谷
工事を行う場所 の 地 図 (周辺の地図を 貼り付けて下さい。)	

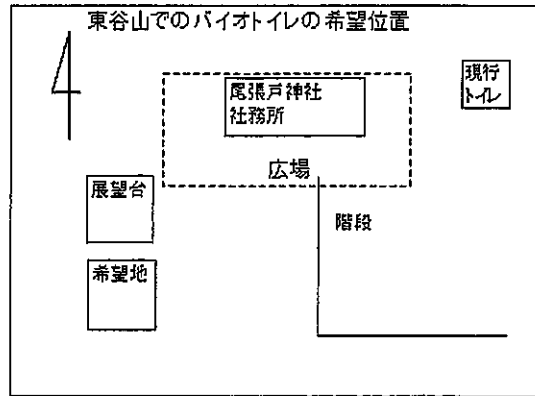
工事提案の具体的な内容

工事を行う現地状況を写真などで表現するほか、具体的な工事の内容を文章や絵で表現して下さい。

全体工事費 約 600万円（概算）

助成申請額 約 480万円（概算）

※助成申請額は、全体の工事費の5分の4（80％）が限度です。



案（建屋外観等ブレインストーミング・意見聴取で変更ありえます）



トイレ建築の過程に市民が関わるようなしかけ（トイレ案ベースのブレインプラン作成・各団体・地域住民意見聴取（回覧板・ポステイング）・トイレ壁画コンクール・親子漆喰カベ塗り・東谷山の宝物収集・壁に宝物親子埋め込みと住民説明会など）を実施し

子どもたちもいきたくなるエコなバイオトイレ（分解菌によってし尿を極めて少量の粉体物にすることによって4-6ヶ月に1回のメンテナンスをするだけで、処理不要となる）の設置。水もほとんど不要なため上下水道不要となり山の本を切り掘り起こす工事もなく、建設前後でも環境によい。

東谷山の森の景観に相応しく、こどもたちが、行きたくなり・気持ちよく使えるようなトイレを目指します。

このバイオトイレの清掃・維持管理についても、えこども、19日会、尾張野鳥の会、守山リス研究会、尾張戸神社で分担表を検討して実施されます。

<p>審査基準①</p> <p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公益性・公共性のある提案か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする提案か ・地域の身近な課題やニーズを的確に把握しているか ・地域に貢献する施設か ・どこまでを地域として捉えているか
<p>提案工事の必要性について上記観点から分かり易くご記入下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 上下水道をひくには、森林伐採等、費用だけでなく、環境負荷がかかりすぎます。 2) 幼児や子どもたちとパパママ、ハイカー、参拝者、外国人が山頂までやっときて、ホッとしたときにトイレが怖いと子供に泣かれ、慌てて下山するのは、悲しすぎます。 3) 東谷山と志段味周辺では多数の古墳群があり、それらの歴史を保存しツアーする活動がひろがり子どもや大人が登る機会がさらに増加しつつあります。ちょうど富士山で、野グソをする登山客のティッシュペーパーの散乱で世界遺産に認定されなかった経緯があり現在はバイオトイレを採用しているのと同様に、汲み取り式からバイオトイレに切り替える丁度よい機会であると思います。 4) えこどもでは、持続可能な子育ての提案として、おむつなし育児もおすすめています。 5) 使い捨ての化学製品ではなく、綿のパンツを使用するため、幼児におしっこをトイレで促したり、パンツ内で出たうんちをトイレに破棄する機会が多いので、より親子が楽しくトイレに向かい、なおかつ、科学の学習材料にもなるトイレが望ましい。 6) 幼児期の育ちが大切な時期であるからこそ、トイレへの印象が重要になってくる。これを機会にトイレへ行く子どもが増えたらうれしい。 	
<p>審査基準②</p> <p>独創性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性や資源などを活かした個性豊かな提案か ・創意工夫を凝らした提案か
<p>提案工事の独創性について上記観点から分かり易くご記入下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ワークショップを行い、トイレ建築の過程に市民が関わるよう、実行委員会で企画し実施します。 <p><u>ワークショップ内容例</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 必要なトイレとは何かブレインマップの作成(KJ法的まとめ)。それをベースに ② 定期的に各団体・合同トイレ実行委員会を開催(えこどもではりす山の保育園活動後に、父母らに説明会を開き、意見を求め)集約する。 ③ 準備期間中にバイオトイレ試乗・視察ツアーの企画実施 *名古屋市立愛宕霊園駐車場バイオトイレ他、実際に施工している所等 ④ トイレ壁面デザイン絵画コンクール開催 ⑤ 親子が東谷山の山道で拾い上げた、リスの食べたクルミ食痕や古墳の石英かけらを集め、トイレの漆喰塗りを親子でしたあとにモザイクとして、拾った宝物(クルミ食痕、石英破片等)を埋め込み飾っていく。 ⑥ おがくずの地元入手先、有機肥料お試し配付東谷山周辺農家探訪 ⑦ 完成後の掃除当番分担と表制作の実施 ⑧ 地元住民への説明会・完成ワークショップ(完成後現地でのバイオトイレ現物紹介原理説明会をリス山の保育、定期調査活動に組み込む) 	

<p>審査基準③</p> <p>実現性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画が具体的にになっているか ・スケジュールは妥当か ・地域住民が参画して取組んでいく予定はあるか ・自己資金（工事費の5分の1）を用意できる見通しはあるか
<p>第2次選考に向けてのスケジュールをご記入下さい</p>	
<p>24年 7月</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) めざすトイレのプレインマップ検討(KJ法によるベース案) 毎月の各団体トイレ実行委員会で意見まとめ・集約 2) 実行委員会意見聴取・集約とバイオトイレ試乗実施と見積り条件の収集 3) 建屋条件の検討と見積もり条件の集約 4) 業者と実行委員会との見積もり仕様打ち合わせ トイレ壁等絵画コンクール実施 5) 業者への見積り依頼と設置建設までの具体的な工程表依頼 6) 実行委員会での見積もり、工程評の検討、再見積もり、工程表修正 7) 見積り工程表が素案として出た段階で地域の方を対象に 回覧板・ポステイングによる工事提案・説明会を実施 <p>5) 最終仕様・見積りと工事工程表の完成</p>
<p>準備助成金を活用して行う、活動計画をご記入下さい。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1)尾張戸神社社務所を借用して「めざすトイレのプレインマップ」検討(KJ法による) 2)尾張戸神社社務所を借用して実行委員会での仕様打ち合わせ 3)仕様書、見積り書、工事工程表の実行委員会人数分のコピー事前配布（郵便） 4)バイオトイレ試乗訪問調査 5)尾張戸神社社務所を借用して実行委員会と業者との見積もり打ち合わせ 6)尾張戸神社社務所を借用して実行委員会での工程表打ち合わせ 7)トイレ壁面デザイン絵画コンクール実施 8)見積り工程表が素案として出た段階で、回覧板、ポステイングにより提案説明会への参加を呼び掛け、地域の方を対象に工事提案・説明会を実施 9)工事提案・説明会での結果を踏まえて最終仕様書、最終見積り書、最終工事工程表の実行委員会、業者との打ち合わせ 10)尾張戸神社社務所を借用して実行委員会での最終打ち合わせ 	
<p>自己資金を用意できる見通し</p>	<p>実行委員会構成団体（えこども、19日会、尾張野鳥の会、守山リス研究会、尾張戸神社）のうち19日会、尾張戸神社、守山リス研究会で資金を積み立て開始しており、150万円目標で準備している。（ほぼ達成見込み）</p>
<p>工事を行う場所の地権者や管理者等の対応状況</p>	<p>工事を行う場所の地権者や管理者に事前に提案内容について協議し、その対応状況をご記入ください</p> <p>地権者である尾張戸神社とは事前に相談済みで、実行委員会にも参画をお願いして同意を得て発足。バイオトイレ設置の同意のための借地了解、なごや都市センター殿の助成金をベースに不足分を実行委員会で負担することを相談し、了解を得ています。</p>

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

活動項目	内訳		金額(円)
打ち合わせ	場所代	月1-2回の実行委員会打ち合わせ 説明会 5千円 x1回 x6ヶ月 プレンプラン検討・建屋・壁・看板設計デザイン検討・和英文表記	3万円
バイオトイレ 試乗調査	説明看板等デザイン		8万円
絵画コンクール	コピー代 (リス研保有大型コピー機使用)	実行委員会用 10人 x 10枚 x 1回 x 6ヶ月 X10円=0.6万円 説明会参加依頼ポステイング・回覧用チラシ 1000枚 x 10円=1万円 説明会当日用資料(2枚 x 100人分 x 10円)	4万円
周辺住民説明 意見聴取会	部材費 人件費	絵画コンクール用画用紙 ポステイング作業費 10人 x ¥3000円	3万円
	郵便代	10人 x 1回 x 250-350円 x 6ヶ月	2万円
	交通費	3回 x 2000円 x 3台 打ち合わせ駐車場、高速代金	2万円
計			22万円

公開 審査基準④ 活動実績と 主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか ・自ら主体となって工事を行い、施設の継続的な維持管理をする意欲と見通しがあるか
------------------------------------	--

団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点から分かり易くご記入下さい。

参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。

1) 実行委員会を構成する代表団体「えこども」の概要は以下の通りです。

1996年から名古屋市守山区にて、子どもアートスクール「ミナコース」創設。障害をもつ子ども(延べ50人)もアーティストと一緒に創作活動をするアトリエとして開放。(3歳から18歳の子どもや障がい児向けのアートを通じたワークショップを実施)

2006年から「ミナコース」名称及び会場を変更し、子どもワークショップ「えこども」に。地域の幼児(3歳から6歳)を対象とした造形ワークショップ、親子英語、食育講座、朗読会、など、を拡大実施継続中。

2011年からリス山の保育園として守山リス研究会と協働で1-6歳幼児とそのご家族への活動を毎回30人前後で拡大開始。森での拾いもの、観察、アート、ストーリーテリング、歌あそびなどを通して、おもちゃがなくても工夫して楽しく遊ぶ体験をする活動を実施中。

またそのほかの実行委員構成団体の19日会も毎月19日に会員が尾張戸神社にあつまり、定例活動としておまいりと周辺の掃除・トイレ掃除・森整備を実施、尾張野鳥の会も東谷山で鳥の観察と記録を30年近く実施、守山リス研究会も東谷山を中心に20年以上野生生物の保全活動を実施しており、共同してこのバイオトイレプロジェクトを遂行する「フィールドを共有」しており、「より良いフィールド、より良い環境にしていくことの重要性を共有認識している」実行委員会です。

第8号様式は、5ページ以内でご記入下さい。